

科目名	医学・医療用語							年度	2024
英語科目名	Medical Terminology							学期	後期
学科・学年	医療事務科 1年次	必修	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	照井裕子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		作業療法士		
【科目の目的】									
医療の現場で仕事をする上で必要なものに「医学・医療用語」がある。医療事務員として業務を円滑に行うためには、診療録に記載される専門用語や略語に精通していることが求められる。そしてその前提として、専門用語を「正しく読める」ことが必須である。本科目では、医療領域で汎用される専門用語や略語などを学習することを目的とする。									
【科目の概要】									
医療領域における専門用語や現場でよく使われる略語について、人体構造や疾病、治療法などと関連付けながら解説する。									
【到達目標】									
A. 専門用語を正しく読める B. 専門用語の意味が分かる C. 略語と専門用語（正式名称）とのマッチングができる									
【授業の注意点】									
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A (30%)	(90%以上) 到達目標をはるかに上 回る結果である	(80%～89%) 到達目標を十分に上回 る結果である	(70%～79%) 到達目標を標準的に達 成している	(60%～69%) 到達目標には届いてい るが努力を要する	(60%未満) 到達目標に届かず相当 の努力を要する				
到達目標 B (40%)	(90%以上) 到達目標をはるかに上 回る結果である	(80%～89%) 到達目標を十分に上回 る結果である	(70%～79%) 到達目標を標準的に達 成している	(60%～69%) 到達目標には届いてい るが努力を要する	(60%未満) 到達目標に届かず相当 の努力を要する				
到達目標 C (30%)	(90%以上) 到達目標をはるかに上 回る結果である	(80%～89%) 到達目標を十分に上回 る結果である	(70%～79%) 到達目標を標準的に達 成している	(60%～69%) 到達目標には届いてい るが努力を要する	(60%未満) 到達目標に届かず相当 の努力を要する				
【教科書】									
なし									
【参考資料】									
資料を配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】									
小テスト（30％）、期末試験（70％）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		医学・医療用語			年度	2024
英語表記		Medical Terminology			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	医療概論・医療職	医療概論・医療職に関連する用語を学ぶ	それぞれの用語に関する読み方・意味・略語の説明	・専門用語を正しく読める ・専門用語の意味を理解できる ・略語と専門用語とのマッチングができる	1	
2	医療職・施設ユニット	医療職・施設ユニットに関連する用語を学ぶ			1	
3	医療行為・業務	医療行為・業務に関連する用語を学ぶ			1	
4	疾病・病態	疾病・病態に関連する用語を学ぶ			1	
5	疾病・病態	疾病・病態に関連する用語を学ぶ			1	
6	疾病・病態	疾病・病態に関連する用語を学ぶ			1	
7	診療記録	診療記録に関連する用語を学ぶ			1	
8	検査	検査に関連する用語を学ぶ			1	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等